

工 事 番 号							
設計年度	令和 8 年度		市道幸崎20号線道路改良工事 三原市 幸崎能地一丁目 仕 様 書				
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工延長 L=7.6m 道路土工 一式 函渠工 L=8.4m 側溝工 L=9.5m 仮設工 一式							

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市幸崎能地一丁目 市道幸崎20号線道路改良工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・**土木工事共通仕様書（令和8年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

・その他関連規格類

第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とする。

第3節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-27 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第4節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第5節 週休2日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日工事等実施要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。

第6節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第2章 施工条件

第1節 工程

1 施工時期・時間の制限

施工内容	工事全般
時期	全工事期間
時間	調整による
施工方法・理由	工事に伴い通行止めが発生する場合は、地元への周知を徹底すること

2 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督職員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	別途協議

第2節	用地	
	1	現場の復旧 原形復旧とする。
第3節	公害対策	
	1	粉じん防止 管理内容 範囲
		粉じん防止の散水を適宜行うこと。 工事作業範囲
第4節	安全対策	
	1	交通誘導員 作業期間中において、交通誘導員は3（人／日）見込んでいる。
第5節	建設副産物	
		本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。
	1	再生資源利用計画及び再生資源促進計画 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
	2	計画の掲示及び公表 受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。 現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。 https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
	3	実施書の提出 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
	4	工事現場の管理体制 受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
	5	建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成 受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。 ※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
	(1)	工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
	(2)	再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項 ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。 イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第6節 その他

- 1 工事用機資材等の仮置き場所
受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。
- 2 工事保険等
受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は設計で現場管理費に見込んでいる。
- 3 法定外の労災保険 の付保
- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和8年8月 広島版）『1-1-1-35 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第2節 建設副産物

1 建設発生土（搬出） （建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社アヴァンセ沼田東町納所リサイクルプラント

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
道路改良		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	土砂 上記以外(小規模)	m3		10	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
函渠工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
函渠工		式		1	レベル3
函渠工	据付 1.25<B 2.5_0<H 1.25	式		1	レベル4
排水構造物工		式		1	レベル2
側溝工		式		1	レベル3
プレキャストU型側溝	PU3-B300-H300-2	m		10	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
防護柵撤去工		式		1	レベル3
防護柵撤去(ガードレール)	コンクリート建込	m		8	レベル4
スクラップ		t		0.13	レベル4
構造物取壊し工		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
コンクリート構造物取壊し	機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)	m3		15	レベル4
舗装版切断	アスファルト舗装版 厚15cm以下	式		1	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版 厚15cm以下	m2		25	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	Co殻	m3		15	レベル4
殻処分	Co殻	m3		15	レベル4
殻運搬	As殻	m3		1	レベル4
殻処分	As殻	m3		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
工事用道路工		式		1	レベル3
水替工		式		1	レベル3
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		24	レベル4
* * 直接工事費 * *					
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					

工事数量総括表

頁0 -0003

[illegible]

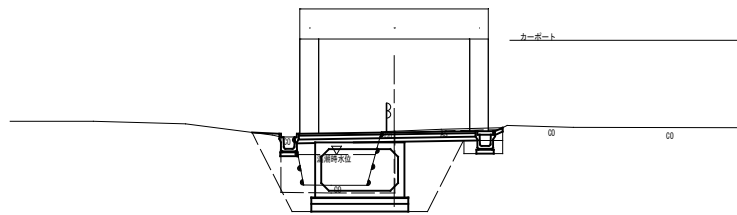


IPNO	IP. 1
IA	21-41-45
R	20.000
TL	3.833
CL	7.573
SL	0.364

IPNO	IP. 2
IA	29-14-31
R	15.000
TL	3.913
CL	7.656
SL	0.502

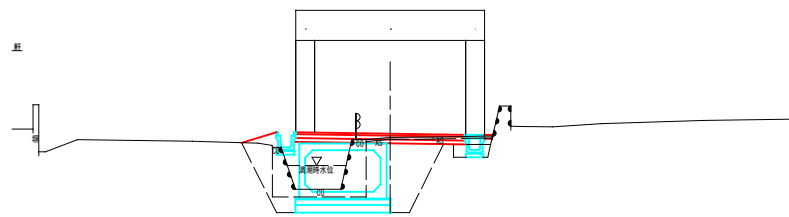
工事名	市道幸崎20号線道路改良工事		
図面名	平面図		
作成年月日	令和8年8月		
縮尺	1/250	図面番号	1 / 4
会社名			
事業者名	三原市役所		

D =3.787
SP1 (NO. 0+10.754)
GH= 2.58
FH= 2.546



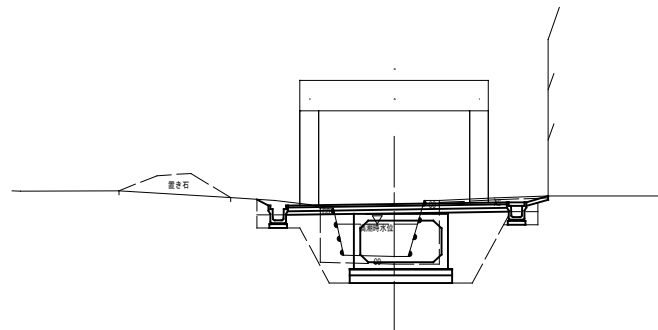
DL=0.00

D =3.828
BC2 (NO. 1+8.194)
GH= 2.70
FH= 2.799



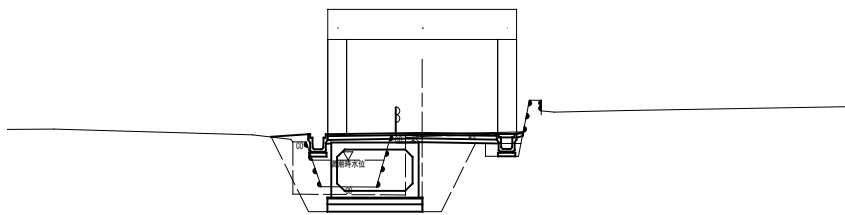
DL=0.00

D =3.787
BC1 (NO. 0+6.967)
GH= 1.10
FH= 2.491



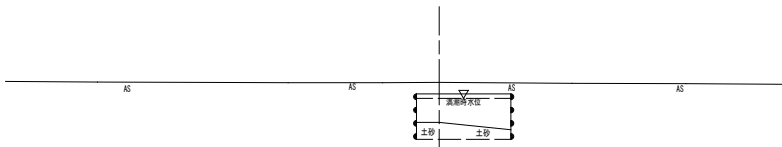
DL=0.00

D =8.194
NO. 1
GH= 2.63
FH= 2.680



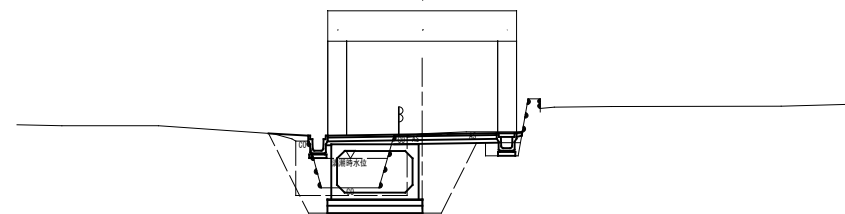
DL=0.00

D =6.967
BP (NO. 0)
GH= 2.39
FH= 2.390



DL=0.00

D =5.459
EC1 (NO. 0+14.541)
GH= 2.62
FH= 2.601

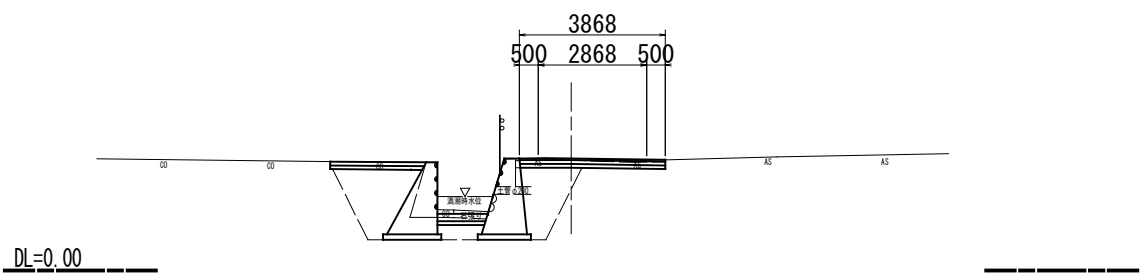


DL=0.00

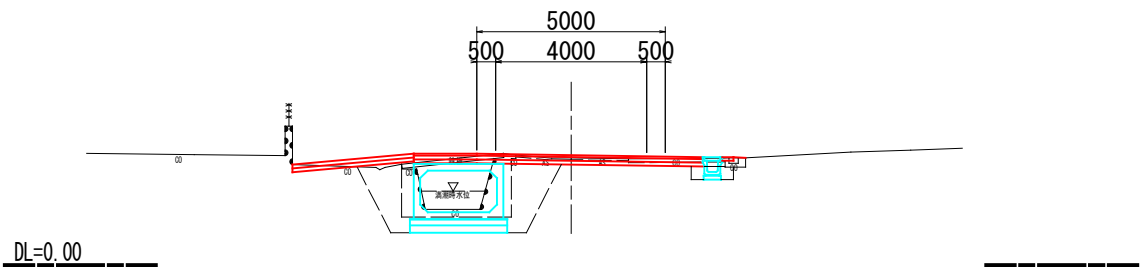
※満潮時水位は観測時2025年9月9日とする。

工事名	市道幸崎20号線道路改良工事			
図面名	横断面図			
作成年月日	令和8年8月			
縮尺	1/100	図面番号	3	/ 4
会社名				
事業者名	三原市役所			

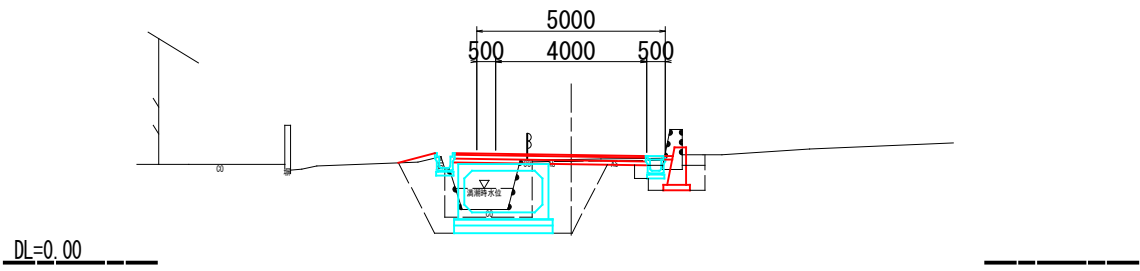
EP (NO. 2)
GH= 2.97
FH= 2.970



D =4.151
EC2 (NO. 1+15.849)
GH= 2.84
FH= 2.910



D =3.827
SP2 (NO. 1+12.022)
GH= 2.73
FH= 2.854



※満潮時水位は観測時2025年9月9日とする。

工事名	市道幸崎20号線道路改良工事			
図面名	横断面図			
作成年月日	令和8年8月			
縮尺	1/100	図面番号	4	/ 4
会社名				
事業者名	三原市役所			

参 考 資 料

－市道幸崎20号線道路改良工事－

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-08.08.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種	04 道路改良工事		
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)		
復興補正区分	00 補正なし		
週休補正区分	00 補正なし		
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし		
I C T補正区分	00 補正なし		
冬期補正係数	00 補正なし		
緊急工事区分	00 通常工事 0 %		
前払金支出割合区分	00 補正無し		
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
	1	式			
道路土工					Y1E0101 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1E010101 レベル3
	1	式			
掘削 土砂 上記以外(小規模)					Y1E01010101 レベル4
	10	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準					SPK26040001 00
	10	m3			単第0 -0001 表
残土処理工					Y1E010110 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)					Y1E01011002 レベル4
	10	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離19.0km以下(13.0km超)					SPK26040002 00
	10	m3			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分 土砂	10	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 土砂	10	m3			F000000100 00
函渠工	1	式			Y1E0108 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010801 レベル3
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	40	m3			Y1E01080102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	40	m3			SPK26040014 00
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	30	m3			単第0 -0003 表 Y1E01080103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	30	m3			SPK26040019 00 単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
函渠工					Y1E010807 レベル3
	1	式			
函渠工 据付 1.25<B 2.5_0<H 1.25					Y1E01080701レベル4
	1	式			
ボックスカルバート 据付 1.25<B 2.5_0<H 1.25 基礎砕石+均しコンクリート					SPK26040091 00
	8	m			単第0 -0005 表
材料費					V000001100 00
	1	式			単第0 -0006 表
排水構造物工					Y1E0109 レベル2
	1	式			
側溝工					Y1E010903 レベル3
	1	式			
プレキャストU型側溝 PU3-B300-H300-2					Y1E01090301レベル4
	10	m			
U型側溝 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種 300A[300×300×2000]					SDT00013 00
	10	m			単第0 -0007 表
構造物撤去工					Y1E0112 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵撤去工	1	式			Y1E011201 レベル3
防護柵撤去(ガードレール) コンクリート建込	8	m			Y1E01120101 レベル4
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 コンクリート建込 A,B,C(支柱間隔2m)	8	m			SS000127 00 単第0 -0008 表
スクラップ	0.13	t			Y4999 レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付 通称2t積2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)	0.13	t			SPK26040410 00 単第0 -0009 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
鉄屑(ヘビーH3) 厚さ1mm以上3mm未満，幅高500mm以下 長さ1,200mm以下，質量1,000kg以下	-0.13	t			T100E005 00
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
コンクリート構造物取壊し 機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)	15	m3			Y1E01120601 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)	15	m3			SDT00031 00 単第0 -0010 表
舗装版切断 アスファルト舗装版 厚15cm以下	8	m			Y1E01120602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	8	m			SPK26040304 00 単第0 -0011 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 厚15cm以下	25	m2			Y1E01120603レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	25	m2			SPK26040303 00 単第0 -0012 表
運搬処理工	1	式			Y1E011216 レベル3
殻運搬 Co殻	15	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし D1D区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	15	m3			SPK26040155 00 単第0 -0013 表
殻処分 Co殻	15	m3			Y1E01121602レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
受入費 Co殻	35	t			#0041 F000000200 00
殻運搬 As殻	1	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離6.0km以下(4.5km超)	1	m3			SPK26040155 00 単第0 -0014 表
殻処分 As殻	1	m3			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 As殻	3	t			F000000300 00
仮設工	1	式			Y1E0115 レベル2
工事用道路工	1	式			Y1E011501 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設舗装					Y1E01150105レベル4
	75	m2			
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工					SPK26040234 00
	75	m2			単第0 -0015 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm					SPK26040241 00
	75	m2			単第0 -0016 表
土のう積					Y1E01150112レベル4
	6	m2			
土のう積工 製作・積立 側面並べ					S1050063 00
	6	m2			単第0 -0017 表
水替工					Y1E011506 レベル3
	1	式			
ポンプ排水					Y1E01150601レベル4
	8	日			
ポンプ設置・撤去					SHD10037 00
	1	箇所			単第0 -0018 表
ポンプ運転 排水量_0以上120未満(m3/h) 全揚程_10m 作業時排水					S1050053 00
	8	日			単第0 -0020 表

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1E011521 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1E01152101レベル4
	24	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	24	人			
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 27.65% 労務構成比: 61.34% 標準
SPK26040001
材料構成比: 11.01% 市場単価構成比: 0.00% 単第0 -0001 表
1
標準単価: 1,342.70000 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 バケット容量0.28m3	27.65%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.28m3		MTPC00185 MTPT00185
運転手(特殊)	61.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=7 土砂 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0012

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 25.12% 労務構成比: 63.12% 材料構成比: 11.76% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040002
DID区間無し 距離19.0km以下(13.0km超)

単第0 -0002 表
1
標準単価: 4,427.50000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 通称4t積級	25.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.12%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.76%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=52 距離19.0km以下(13.0km超)			B=5 バックハウ B容量0.28m3 D=1 DID区間無し		

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 19.50% 労務構成比: 73.36% 材料構成比: 7.14% 市場単価構成比: 0.00% 単第0 -0003 表

1
標準単価: m3 当り
2,397.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	19.50%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
運転手(特殊)	39.84%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し
土砂

SPK26040019
上記以外(小規模)

単第0 -0004 表

1
標準単価:

m3 当り
4,309.40000

機械構成比: 9.23% 労務構成比: 86.75% 材料構成比: 4.02% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	8.67%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
タンバ及びランマ ランマ 通称60～80kg級	0.56%		ランマ 通称質量60～80kg級		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0015

埋戻し

土砂

機械構成比: 9.23%

勞務構成比： 86.75%

上記以外(小規模)

材料構成比: 4.02%

市場単価構成比: 0.00%

單第0 -0004 表

1
標準単価：

m3 当り
4,309.40000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

ボックスカルバート

SPK26040091

単第0 -0005 表

据付 1.25<B 2.5_0<H 1.25

基礎砕石+均しコンクリート

1 m 当り

機械構成比: 17.76%

労務構成比:

82.24%

材料構成比:

0.00%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

34,492.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	7.93%		ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力25t吊		KTPC00014 KTPT00014
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	18.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.39%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=2 1.25<B 2.5_0<H 1.25 E=1 PC鋼材による縦締め無し			B=2 製品長1.5m/個 D=1 基礎砕石+均しコンクリート F=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0017

材料費

V000001100

單第0 -0006 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去
コンクリート建込

SS000127

單第0 -0008 表

1 m 当日

A,B,C(支柱間隔2m)

[illegible]

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付 通称2t積2.9t吊
機械構成比: 13.14% 労務構成比: 83.98% 材料構成比: 2.88% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040410
片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)

単第0 -0009 表
標準単価: 1 t 当り
5,682.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 通称2t積級吊能力2.9t	13.14%		トラック クレーン装置付 通称2t積級 吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.42%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=10 クレーン装置付 通称2t積2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)			B=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0021

構造物とりこわし工(無筋構造物)
機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)

SDT00031

單第0 -0010 表

1 m3 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

舗装版切断

SPK26040304

単第0 -0011 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 14.40%

労務構成比:

58.90%

材料構成比: 26.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

731.83000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径 φ 56cm	9.80%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径 φ 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.47%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.88%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0023

鋪裝版切断

SPK26040304

單第0 -0011 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当口

機械構成比: 14.40%

勞務構成比:

58.90%

材料構成比: 26.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

731.83000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比: 12.28% 労務構成比: 81.66% 材料構成比: 6.06% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 227.41000

SPK26040303 障害等無し 舗装版厚15cm以下

単第0 -0012 表 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.28%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型 バケット容量0.45m3		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 39.03% 労務構成比: 46.18% 材料構成比: 14.79% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040155
DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

単第0 -0013 表
1
標準単価: 1,375.30000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

頁0 -0026

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 42.27%

SPK26040155
DID区間無し 運搬距離6.0km以下(4.5km超)
労務構成比: 41.18%

単第0 -0014 表
材料構成比: 16.55%

1
標準単価: 1,924.10000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	42.27%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=2 機械積込(騒対不要,15cm超)又(騒対要) D=27 運搬距離6.0km以下(4.5km超)		

施工単価表

頁0 -0027

上層路盤(車道・路肩部)

SPK26040234

単第0 -0015 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.39% 労務構成比: 38.57% 材料構成比: 50.04% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 646.43000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.88%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.98%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.96%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	6.21%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0028

上層路盤(車道・路肩部)

SPK26040234

単第0 -0015 表

RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工 1 m2 当り
機械構成比: 11.39% 労務構成比: 38.57% 材料構成比: 50.04% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 646.43000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm	46.32%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.21%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0029

表層(車道・路肩部)

SPK26040241

単第0 -0016 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.32%

労務構成比: 10.25%

材料構成比: 88.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,891.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.84%		アスファルトフィニッシャ ホイール型 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.13%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.05%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0030

表層(車道・路肩部)

SPK26040241

単第0 -0016 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.32%

労務構成比:

10.25%

材料構成比: 88.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,891.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.48%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.39%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=6 G=1 I=1 平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(20) - -(全ての費用)			B=50 E=2 H=1 1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

土のう積工
製作・積立

S1050063

単第0 -0017 表

側面並べ

10

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
購入土	2.800	m3			
土のう袋	140.000	個			14*10
土木一般世話役	0.280	人			
普通作業員	4.060	人			
諸雑費	0.420	%			#09
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 製作・積立 C=1 【F】土砂(m3)			B=2 側面並べ D=2 【F】土のう(袋)		

施工単価表

頁0 -0032

ポンプ設置・撤去

SHD10037

單第0 -0018 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

機-28 バックホウ(クローラ型)運転
クレーン付2.9t吊 B容量0.8m3

S9035

單第0 -0019 表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

ポンプ運転

排水量 0以上120未満(m³/h)

S1050053

全揚程 10m 作業時排水

單第0 -0020 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

建設用ポンプ(水中ポンプ)運転

S9000045

單第0 -0021 表

口径200mm,揚程10m

11.0kw

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

機-16_発動発電機運転
ディーゼル45kVA

S9469
排出ガス対策型3次基準

單第0 -0022 表

1日目 当日

[illegible]

数 量 総 括 表

—市道幸崎20号線道路改良工事—

市道 幸崎20号線

数量総括表

工事区分 工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	計 上 数 量	備 考
道路改良							
道路土工							
	掘 削 工						
		掘 削	礫質土	m ³	4.0	10	
	残土処理工						
		残土処理	礫質土	m ³	7.5	10	
小型水路工							
	小型水路工						
		プレキャスト水路	PU3-B300-H300-2	m	9.5	10	
函 渠 工							
	作業土工						
		床 掘	礫質土	m ³	41.5	40	
		埋 戻	礫質土 (C領域)	m ³	34.2	30	
		基面整正	礫質土	m ²	22.6	20	
	函渠工本体						
		基礎碎石	RC-40 t=200mm	m ²	21.9	22	
		均コンクリート	18-8-40	m ³	3.3	3	
		同上型枠	RC-40 t=150mm	m ²	2.6	3	
		敷モルタル	1 : 3	m ³	0.4	1	
		ボックスカルバート	2000×1100×LM01500	本	3.0	3	T25、塩対製品、SUSフランジ
		〃	2000×1100×LM01500 (SH150*100)	本	1.0	1	〃
		〃	2000×1100×LM01079/716	本	1.0	1	〃
		〃	2000×1100×LM01315/1679	本	1.0	1	〃
取壊し工							
	取壊し工						
		舗装版切断		m	8.0	8	
		アスファルト剥ぎ取り	t=5cm	m ²	25.3	25	V= 1.3m3
		コンクリート取壊し	無筋	m ³	15.0	15	
		ガードレール撤去工		m	7.6	8	
				kg	124.6	125	16.4kg/m×7.6m
	運搬処分						
		アスファルト殻		t	3.0	3	
		コンクリート殻		t	34.5	35	
仮設工							
	仮設舗装						
		上層路盤		m ²	74.8	75	25.3+49.5
		表層		m ²	74.8	75	25.3+49.5

道路土工数量総括表

種 別	規 格	単位	数 量	備 考
掘 削 工	オープン（礫質土）	m ³	4.0	C (SE)
残土処理工	礫質土	m ³	7.5	

作業土工集計表

種 別	土 質	単位	排水工	函渠工	合 計	備考
床 掘	礫質土	m ³	－	41.5	41.5	
埋戻 (C領域)	礫質土	m ³	－	34.2	34.2	
埋戻 (D領域)	礫質土	m ³	－	－	－	
基面整正	礫質土	m ²	－	22.6	22.6	

※1 残土処理（礫質土）＝（掘削工＋床掘）－（埋戻）÷0.9

（礫質土）＝（4.0＋41.5）－（34.2＋0.0）÷0.9

＝ 7.5 m³

計 第 1 表

掘 削 (オープン)

計 算 表

(礫質土)

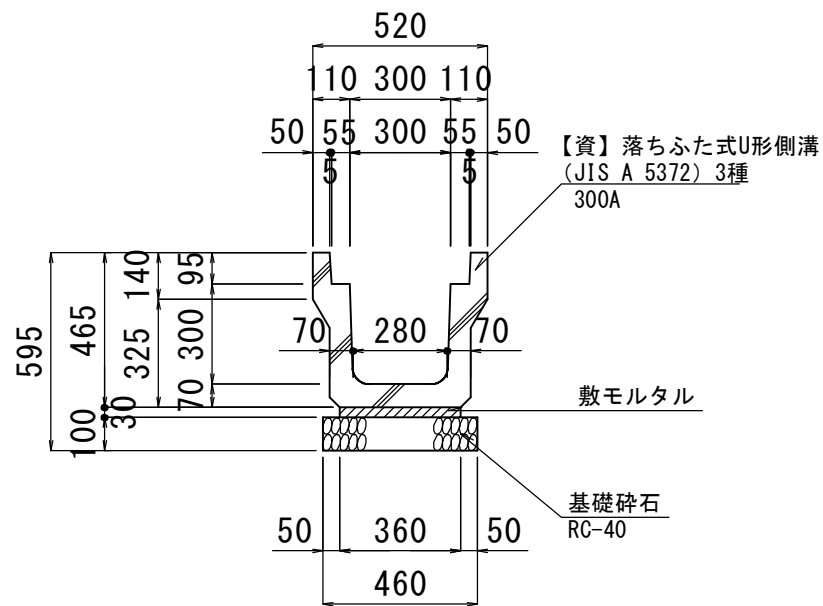
測 点	距 離	C (SE)						摘 要
		断面	平均	立積		平均		
	-	5.5						
BC. 1		1.4						
SP. 1		0.8						
EC. 1		0.7						
NO. 1		0.6						
BC. 2		0.4						
SP. 2	3.8	0.5	0.45	1.7				
EC. 2	3.8	0.7	0.60	2.3				
EP (NO. 2)		0.8						
		0.8						
計	7.6			4.0	m ³			

計 第 3 表

小型排水工

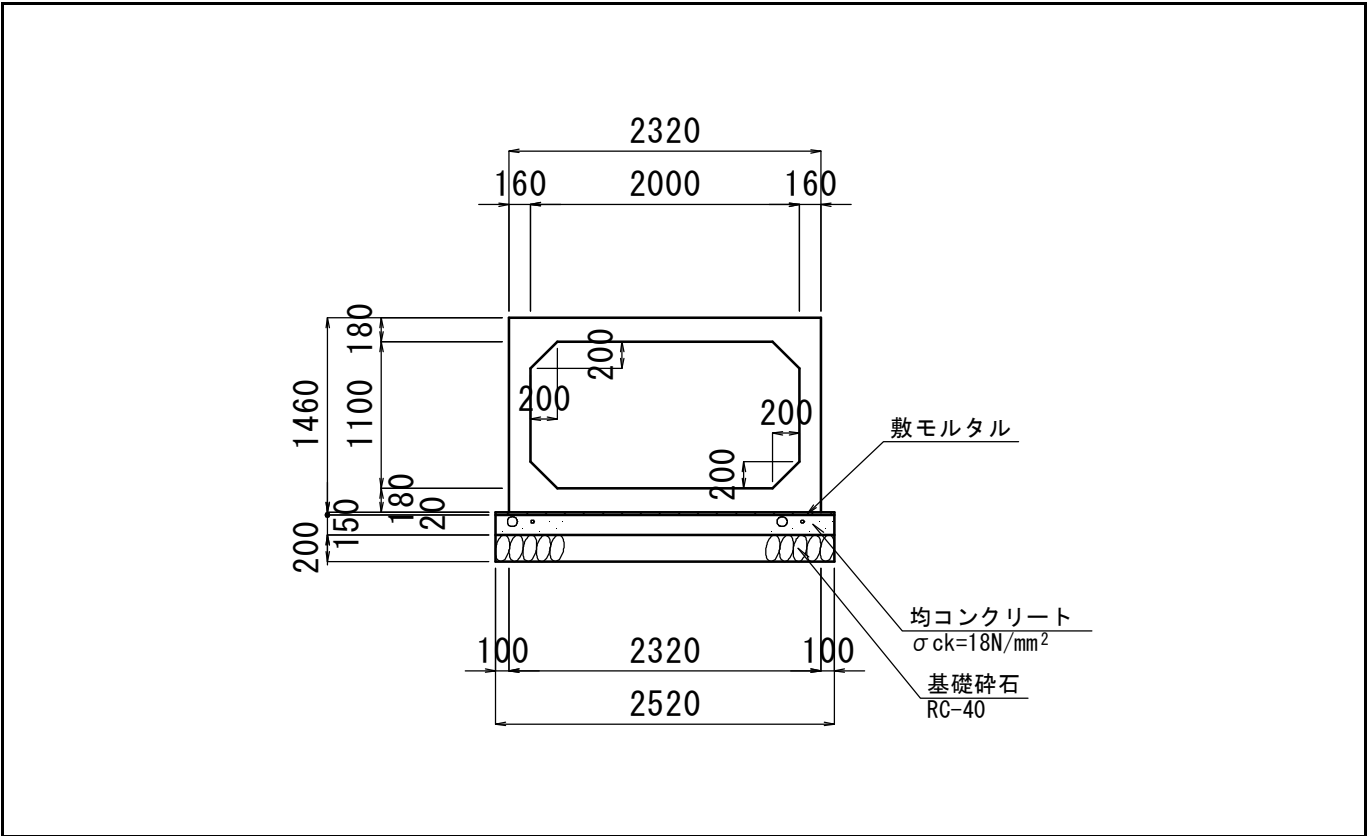
延長調書

PU3-B300-H300-1			PU3-B300-H300-2			重圧管 (D400)		
測 点	距 離	摘要	測 点	距 離	摘要	測 点	距 離	摘要
NO. 0+2. 0	-			-		NO. 0+2. 0	-	
			BC. 1					
	-		SP. 1					
BC. 1			EC. 1					
SP. 1			NO. 1					
EC. 1			BC. 2					
NO. 1			SP. 2	4. 60				
BC. 2				4. 90				
SP. 2								
EC. 2								
計	- m		計	9. 50 m		計	- m	

[illegible]

(NO,)

計 第 4 表			作業土工					計 算 表				(礫質土)
測 点	距 離	E(SE)			Fu(c領域)			K(SE)			摘要	
		断面	平均	立積	断面	平均	立積	幅	平均	平積		
	-	5.0			4.5			2.6				
BC.1		5.0			4.5			2.6				
SP.1		4.4			3.9			2.6				
EC.1		4.3			3.9			2.6				
NO.1		4.1			3.8			2.6				
BC.2		4.6			3.8			2.6				
SP.2	4.2	5.2	4.90	20.6	4.0	3.90	16.4	2.6	2.60	10.9		
EC.2	4.5	4.1	4.65	20.9	3.9	3.95	17.8	2.6	2.60	11.7		
		4.1			3.9			2.6				
	-	7.7			4.8			2.9				
EP(NO.2)		7.7			4.8			2.9				
		7.7			4.8			2.9				
		</										



名 称	規 格	算 式	10m当り数量	延長・ヶ所	数 量
基 礎 砕 石	RC-40	構造図より		8.70	21.9 m ²
	t=200mm				4.4 m ³
均コンクリート	σ _{ck} =18	構造図より			3.3 m ³
同 上 型 枠		"			2.6 m ²
敷 モ ル タ ル	1 : 3	"			0.4 m ³
ボックスカルバート	2000×1100	(LMO 1500 T-25 塩対製品 SUSフランジ)			3.0 本
"	2000×1100	(LMO 1500 SH φ300 T-25 塩対製品 SUSフランジ)			0.0 本
"	2000×1100	(LMO 1500 SH150*100 T-25 塩対製品 SUSフランジ)			1.0 本
"	2000×1100	(LMO 1500 差筋 T-25 塩対製品 SUSフランジ)			0.0 本
"	2000×1100	(LMO 1113 T-25 塩対製品 SUSフランジ)			0.0 本
"	2000×1100	(LMO 911/1315 T-25 塩対製品 SUSフランジ)			0.0 本
"	2000×1100	(LMO 1100/695 T-25 塩対製品 SUSフランジ)			0.0 本
"	2000×1100	(LMO 1079/716 T-25 塩対製品 SUSフランジ)			1.0 本
"	2000×1100	(LMO 1315/1679 T-25 塩対製品 SUSフランジ)			1.0 本
"	2000×1100	(LMO 1679/1315 T-25 塩対製品 SUSフランジ)			0.0 本
"	2000×1100	(LMO 1089/1452 T-25 塩対製品 SUSフランジ)			0.0 本

(NO,)

計 第 7 表		取壊し工			計 算 表		
測 点	距 離	アスファルト剥ぎ取り					
		幅	平均	平積			
	-	22.0					
		2.9					
BC.1		2.9					
SP.1		2.9					
EC.1		3.1					
NO.1		3.1					
BC.2		3.3					
SP.2	3.8	3.5	3.40	12.9			
EC.2	3.8	3.0	3.25	12.4			
EP(N0.2)		4.0					
		4.0					
計	7.6			25.3m ²			
立 積		25.3×	0.05＝	1.3m ³			(舗装厚5cm)
重 量		1.3×	2.30＝	3.0t			

(NO,)

[illegible]

(NO,)

[illegible]

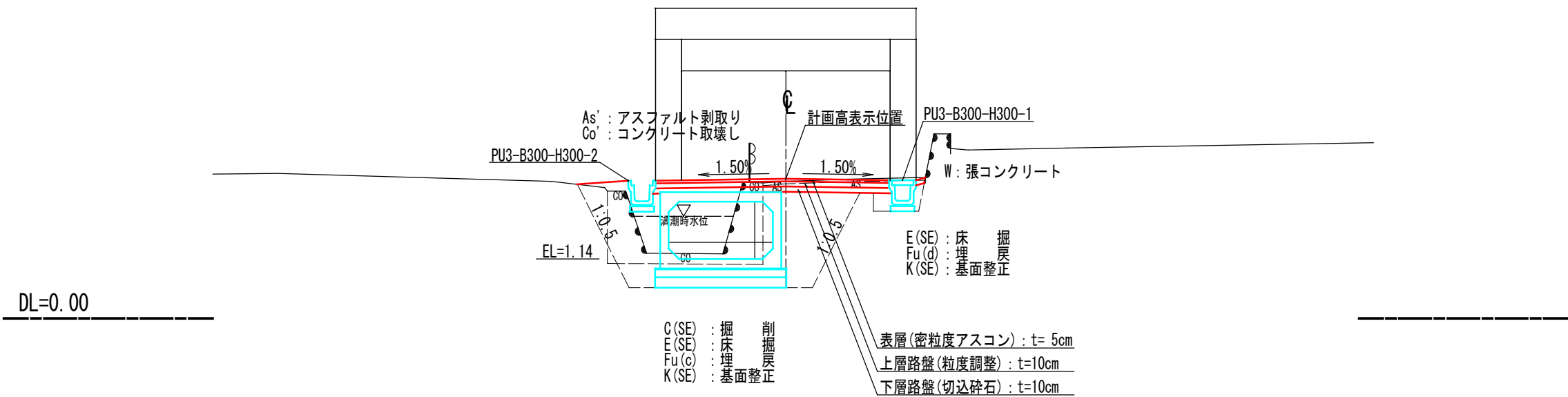
参 考 図

—市道幸崎20号線道路改良工事—

標準横断図

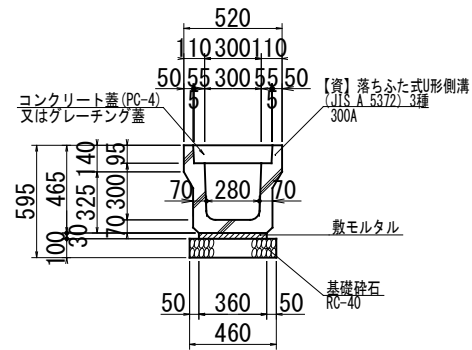
交通区分 T<100(旧L交通) 設計CBR 8.0%以上

表層(密粒度アスコン)	厚	5cm	×	1.00	=	5.00
上層路盤(粒度調整)	厚	10cm	×	0.35	=	3.50
下層路盤(切込砕石)	厚	10cm	×	0.25	=	2.50
合計厚		25cm	TA		= 11.00 ≥ 11.00	

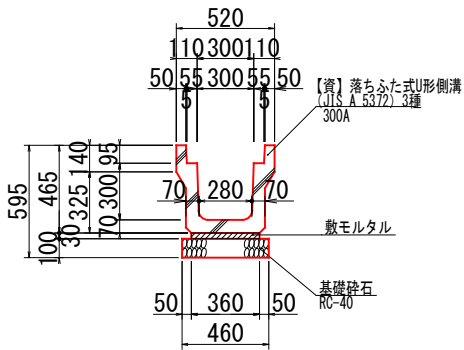


工事名	市道幸崎20号線道路改良工事			
図面名	標準横断図			
作成年月日	令和8年8月			
縮尺	1/50	図面番号	1	/ 5
会社名				
事業者名	三原市役所			

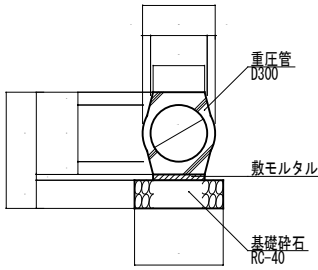
PU3-B300-H300-1
(S=1/20)



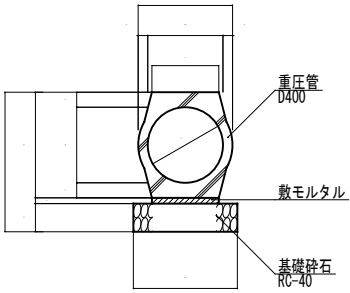
PU3-B300-H300-2
(S=1/20)



重圧管 (D300)
(S=1/20)



重圧管 (D400)
(S=1/20)



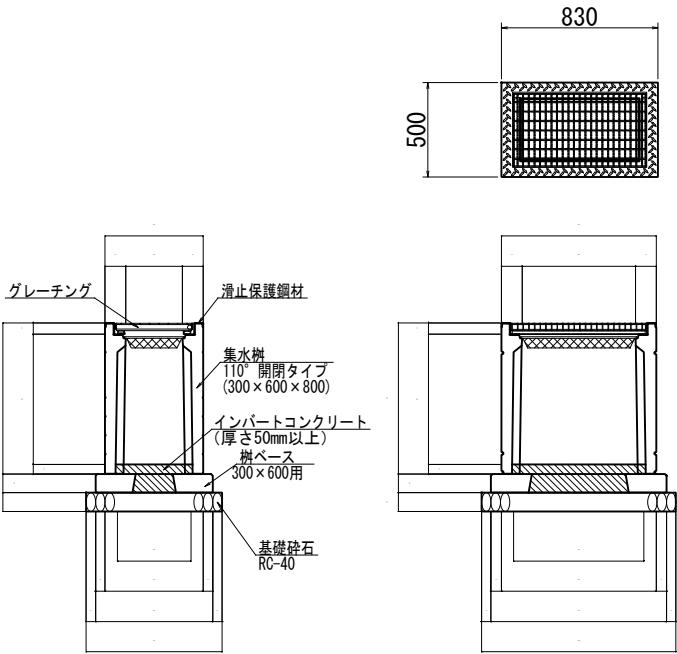
PU3-B300-H300 材料表		10m当り
種 別	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40 t=100mm	4.60 m ²
敷モルタル	1:3 高炉B t=30mm	0.108 m ³
目地モルタル	1:3 高炉B t=5mm	0.002 m ³
側 溝	B300×H300 JIS A 5372-3種	5 個
コンクリート蓋	300用 L=500 (PC-4)	16 枚
グレーチング蓋	300用 L=1000	2 枚

PU3-B300-H300 材料表		10m当り
種 別	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40 t=100mm	4.60 m ²
敷モルタル	1:3 高炉B t=30mm	0.108 m ³
目地モルタル	1:3 高炉B t=5mm	0.002 m ³
側 溝	B300×H300 JIS A 5372-3種	5 個

重圧管 (D300) 材料表		10m当り
種 別	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40 t=150mm	4.70 m ²
敷モルタル	1:3 高炉B t=30mm	0.08 m ³
重 圧 管	D300 L=2000mm	5 個

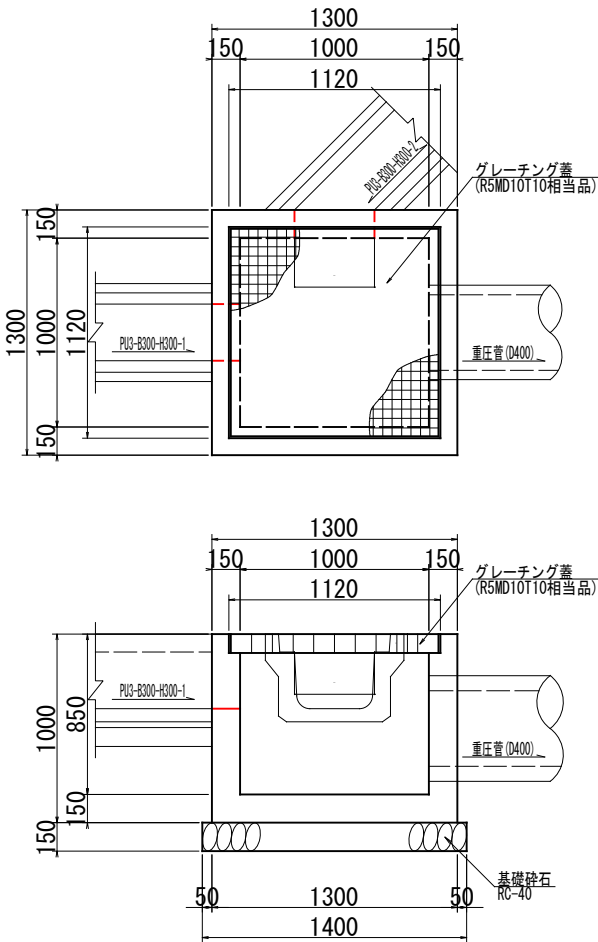
重圧管 (D400) 材料表		10m当り
種 別	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40 t=150mm	5.50 m ²
敷モルタル	1:3 高炉B t=30mm	0.11 m ³
重 圧 管	D400 L=2000mm	5 個

1号集水樹
(S=1/20)



5号集水樹 材料表		1基当り
種 別	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40 t=100mm	0.742 m ²
インポートコンクリート	σ ck=18N/mm ²	0.025 m ³
樹ベース	300×600用	1 基
PU樹 (110° 開閉)	300×600×800	1 基
グレーチング	300×600用	1 枚

2号集水樹
(S=1/20)

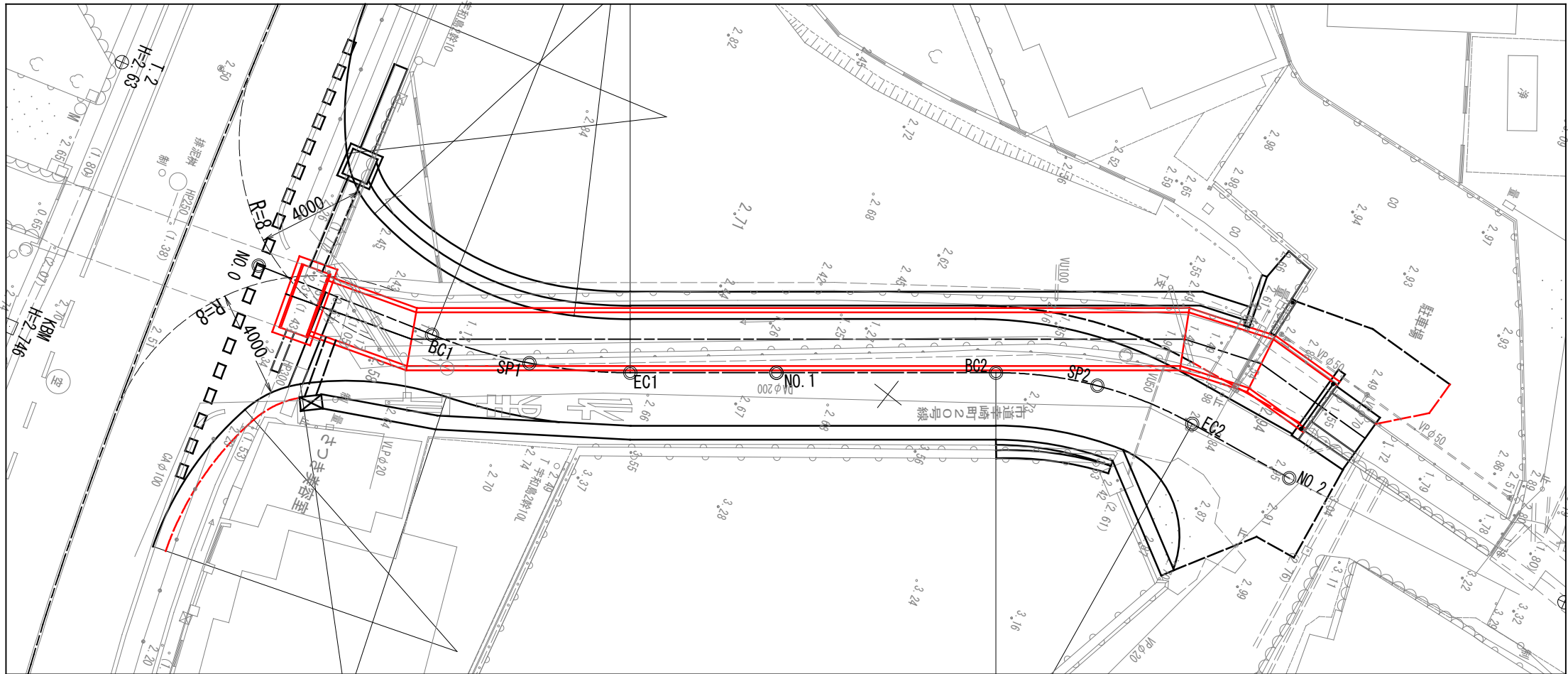


2号集水樹 材料表		1基当り
種 別	算 式	数 量
コンクリート	1.30×1.30×1.00-(1.12×1.12×0.10+1.00×1.00×0.75+0.30×0.40×0.15+0.424×0.40×0.15+0.242×0.15)	0.73 m ³
型 枠	1.30×1.00×4+1.00×1.00×4-(0.30×0.40×2+0.424×0.40×2+0.242×2)+0.40×0.15×2×2	8.38 m ²
基礎砕石	1.40×1.40 (RC-40, t=150mm)	1.96 m ²
グレーチング蓋	RSMD10T10相当品	1 枚

工事名	市道幸崎20号線道路改良工事			
図面名	構 造 図			
作成年月日	令和8年8月			
縮尺	図示	図面番号	2	/ 5
会社名				
事業者名	三原市役所			

ボックスカルバート一般構造図

平面図
(S=1/100)

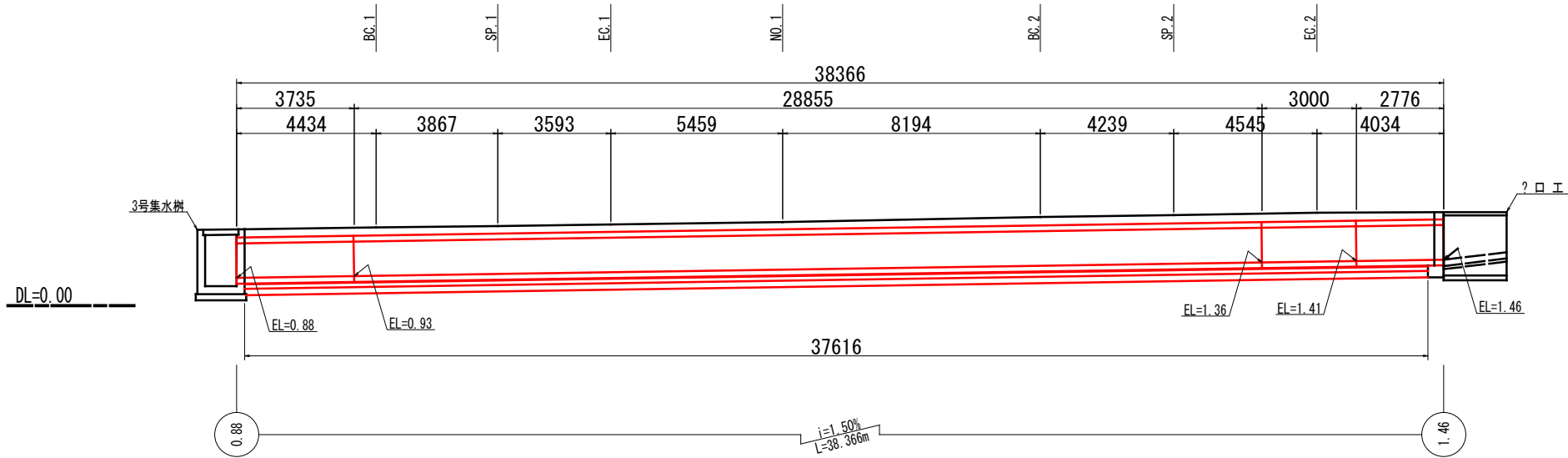


設計条件

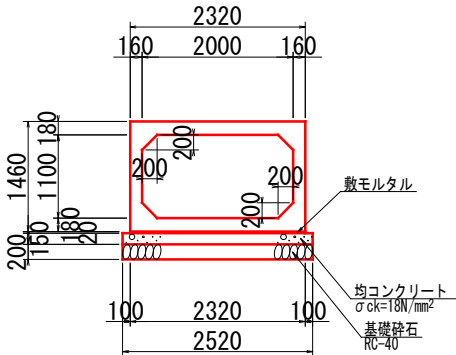
土 か ぶり		0.30 m	
項 目	単 位	数 値	
輪 荷 重	—	T-25	
単 位 体 積 重 量	鉄筋コンクリート	kN/m ³	24.5
	土	kN/m ³	19.0
許 容 力 度	コンクリート設計基準強度	N/mm ²	35.0
	コンクリート曲げ圧縮応力度	N/mm ²	11.7
	コンクリートせん断応力度	N/mm ²	0.26
	鉄筋引張応力度 (SD295)	N/mm ²	160
土 圧 係 数			0.5

※ 塩害対策としてクロロガード使用製品とする。

縦断図
(S=1/100)



断面図
(S=1/50)

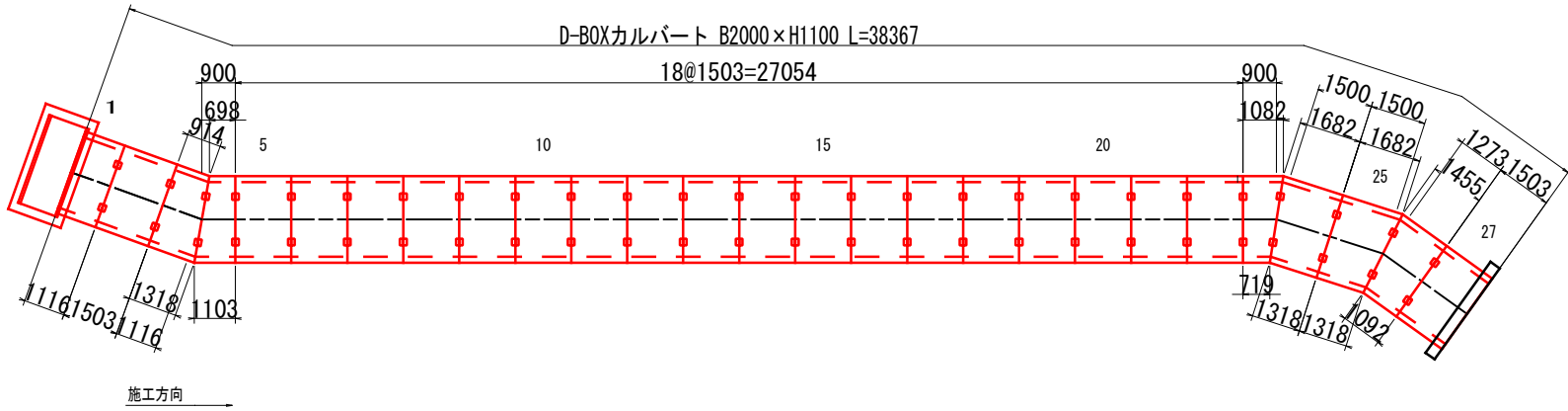


工事名	市道幸崎20号線道路改良工事		
図面名	函渠工詳細図		
作成年月日	令和8年8月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 5
会社名			
事業者名	三原市役所		

ボックスカルバート参考割付図

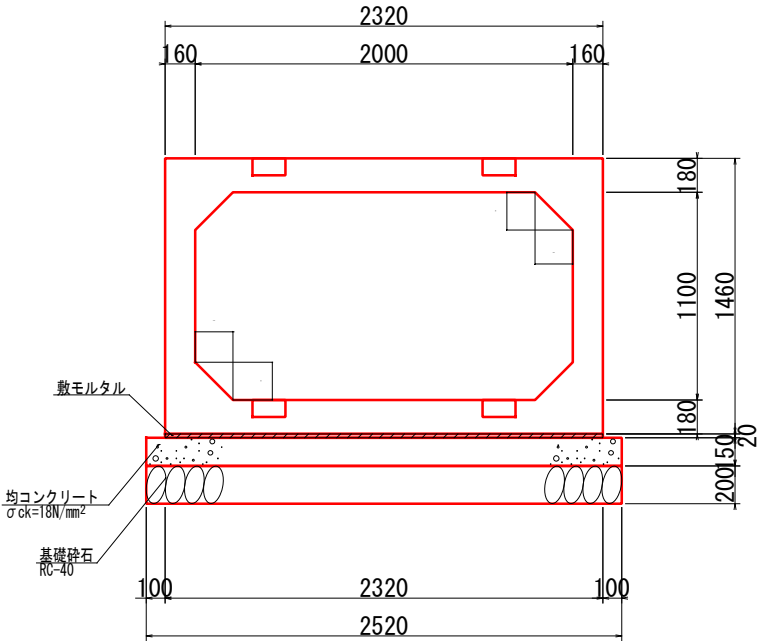
平面図

(S=1/100)
※ 施工時の延びを3mm見込でいます。



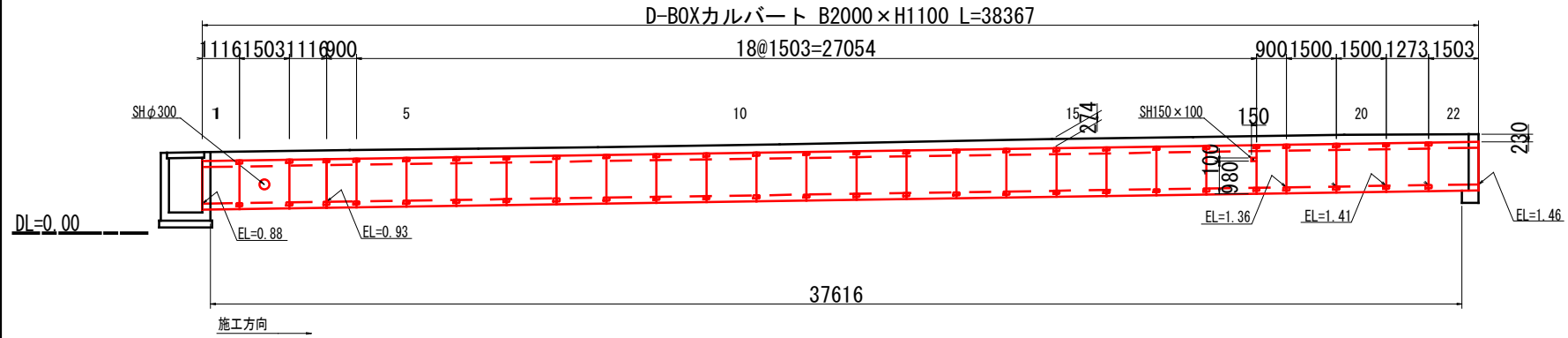
標準断面図

S=1:20



縦断面図

(S=1/100)
※ 施工時の延びを3mm見込でいます。



ボックスカルバート数量表

名称	規格	番号	本数
D-ボックスカルバート 塩害対策仕様 (クロロガード) T-25 2000×1100 SUSフランジ	LMO 1500		17 本
	LMO 1500 SHφ300	2	1 本
	LMO 1500 SH150×100	22	1 本
	LMO 1500 差筋D13 N=24本	27	1 本
	LMO 1113	1	1 本
	LMO 911/1315	3	1 本
	LMO 1100/695	4	1 本
	LMO 1079/716	23	1 本
	LMO 1315/1679	24	1 本
	LMO 1679/1315	25	1 本
	LMO 1089/1452	26	1 本
合計			27 本

LMO・・・凹凸無しの平面斜切及び短切

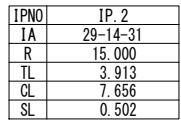
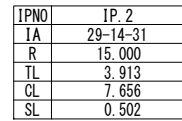
※ 製品番号2のSH位置については、現場測量後に決定すること。

基礎材料表

名称	規格	算式	数量
敷モルタル	C:S=1:3	$2.320 \times 0.020 \times 37.616$	1.745 m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$2.520 \times 0.150 \times 37.616$	14.219 m ³
同上型枠		$0.150 \times 37.616 \times 2$	11.285 m ²
基礎砕石	RC-40, t=200mm	2.520×37.616	94.792 m ²

工事名	市道幸崎20号線道路改良工事			
図面名	函渠工詳細図			
作成年月日	令和8年8月			
縮尺	図示	図面番号	4	/ 5
会社名				
事業者名	三原市役所			

(S=1/250)



工事名	市道幸崎20号線道路改良工事		
図面名	仮設計計画図（案）		
作成年月日	令和8年8月		
縮尺	1/250	図面番号	5 / 5
会社名			
事業者名	三原市役所		

位置図

(34. 342129, 133. 050959)

市道幸崎20号線道路改良工事

